

日本聖公会 管区事務所だより

日本聖公会管区事務所
162-0805 東京都新宿区矢来町 65
電話 03 (5228) 3171 FAX 03 (5228) 3175
発行者 総主事 司祭 矢萩新一

「明日も生きよう 主はおられる」

ーいま、求められるものはー

管区事務所総主事 司祭 エッサイ 矢萩新一

「主の民を祝福して、これを守ってください。万国に平和と一致を与えてください。危険にさらされている者を守り、貧しい者を救い、災いのうちにある者を助けてください。産婦、病人、心身にしょうがいのある人、老人、幼子、また旅行者を守ってください。身寄りのない人、また虐げられている人を守り、支えてください。地の産物を豊かにし、すべての人の用を満たしてください。すべて主にあつて世を去った者に、永遠の光明と平安を与えてください。すべての人を憐れんでください。主よ、お聞きください。」

(日本聖公会祈祷書「嘆願」より)

今年はそれぞれの場所で特別な復活日を迎えられたと思います。アングリカン・コミュニオンで、復活のメッセージを世界中から届けようと、「Global Son Rise ソーシャルメディアキャンペーン」が呼びかけられ、各管区からツイッターでメッセージを送りました。日本聖公会からも、「主は今、生きておられる。我がうちにおられる。すべては、主のみ手にあり、明日も生きよう主はおられる」という歌と、「キリストは本当によみがえられた。Jesus is Alive!」というメッセージを発信しました。

<https://twitter.com/AnglicanWorld/status/1249064732247633920?s=20> にアップされていますので、ぜひご覧ください。他の管区のメッセージも、同じツイッターにアップされています。

世界中を困難と不安の中へ陥れている感染症の猛威は、神さまのご意思なのか、悪魔の働きなのか、私たち人間には判断しきれないのだと思います。

命を守るための礼拝休止が正しいのか、不安を飲み込み気を付けつつ集まって祈ることに意義があるのか、それさえも人間の判断で誰も否定できません。私たちは、「み心ならばこの災いを一日でも早く取り除いてください」と願い、「医療や福祉の現場で働く



TwitterQRコード

□会議・プログラム等予定

(2020年4月25日以降)

※現地での予定です。
延期や中止の可能性もあります。

4月

27日(月) 正義と平和・原発問題プロジェクト(延期)

5月

8日(金) ウィリアムズ主教記念基金・基金委員会(文書会議)
12日(火) ~ 13日(水) 日韓協働合同会議(延期)
19日(火) ~ 21日(木) 新任大権研修会(中止)
28日(木) 文書保管委員会〔管区事務所〕

6月

2日(火) 常議員会(Web会議)
2日(火) ~ 4日(木) 第65(定期)総会(延期)
8日(月) ~ 10日(水) 定期主教会(ナザレ)
19日(金) ~ 22日(月) 沖縄週間/沖縄の旅(中止)

<関係諸団体会議・他>

4月27日(月) ACT ジャパンフォーラム運営委員会(Web会議)
5月7日(木) NCC 役員会〔早稲田〕
7日(木) 難キ連運営委員会・世話人会〔早稲田〕
11日(月) ~ 13(水) 日韓在日移住民シンポジウム(延期)
14日(木) NCC 役員会・常議員会〔早稲田〕
14日(木) 日韓キリスト者共同祈禱会実行委員会〔早稲田〕
18日(月) マイノリティ宣教センター理事会〔早稲田〕
6月12日(金) 日本キリスト教連合会常任委員会〔市ヶ谷〕
12日(金) 韓/朝鮮半島の和解と平和を祈るキリスト者会議実行委員会〔早稲田〕

.....
※4月8日(水)の管区事務所職員研修は、延期となりました。よろしくお願ひいたします。

人々、私たちの生活を支えるため働いてくださっている人々、治療中の人々をお守りください」と祈り、できることを一生懸命考え、実行するしかありません。私たちキリスト者は、たとえ教会に集まって祈ることがかなわない中でも、決して一人ぼっちではなく誰かから祈られ、支えられている

ことを知っていますし、必ず復活の希望が与えられると信じる者です。

今、全世界の人々が一番に求めているのは「復活」の希望だと思います。明日も生きよう、主はおられる！ イースターおめでとうございます。

公 示

日本聖公会第65(定期)総会の日程(2020年6月2～4日)を変更し、あらためて下記のように招集いたします。

救主降生 2020年4月15日
日本聖公会総会議長
主教 ナタナエル 植松 誠 ㊞

記

第65(定期)総会

日時：2020年10月27日(火) 13時から10月29日
(木) 15時まで

場所：日本聖公会センター(牛込聖公会聖バルナバ
教会礼拝堂)

〒162-0805 東京都新宿区矢来町65番地

※当日までの状況により、場所を変更する可能性も
あります。

以上

□主事会議

第64(定期)総会期第9回 2020年4月
13日(月)

<主な報告・協議>

- 2019年度一般会計決算案・2020年度一般会計予算案について、財政主事より財政主事査会承認案の説明を受けて承認し、常議員会に諮ることとした。
- 主日礼拝休止中の総会が定めた主日信施の取り扱いについて、COVID-19の影響で礼拝を休止する教会も多い中、主日の信施が大幅に減少する場合、関係するふさわしい資金から例年並みに補充を行う等を協議し、常議員会に諮ることとした。
- 2019年の台風19号の際に千曲川堤防決壊による洪水で被災した(福)賛育会・豊野事業所(長野県)からの支援依頼について、矢萩総主事より説明を受け、聖公会内の募金から支援の可能性を協議した。YMCAが深くかかわるキリスト教精神に則った活動であ

ることは理解するが、日本聖公会の関連施設ではない団体に対し援助を行う際には、現場の教区主教からの推薦等が必要だと判断し、常議員会に諮ることとした。

4. 教役者給与調整システムについて、開始以来初めて支援対象教区が入れ替わることになるが、規程の通り下から3番目の教区の給与基準に合わせて試算し、400万円を上限として下から2番目までの教区に圧縮支給することを確認した。これまでに果たしてきた意義を評価しつつ、システムの本来の目的の再確認と将来的な展望や見直しも視野に置き、引き続き協議していくこととした。

次回会議：2020年7月13日(月)

□各教区 ※コロナウイルス感染症防止のための日程変更にご注意ください。

東京

- ・聖職按手式延期。 5月16日(土)に予定さ

れていた聖職候補生 セシリア下条知加子の執事按手式を延期。延期後の日取りはあらためて公示する。

沖縄

- ・聖職按手式延期。 4月25日(土)に予定されていた執事 ヨシユア上原成和の司祭按手式を延期。延期後の日取りはあらためて公示する。

□神学校

聖公会神学院

- ・2020年度入学礼拝延期。4月6日(月)に予定されていた入学礼拝は、当初4月24日(金)に延期されましたが、事態に鑑み、5月11日(月)に、再度日程変更がなされました。



公 示

救主降生 2020年4月1日
日本聖公会 首座主教
主教 ナタナエル 植松 誠 ㊦

神のおゆるしがあれば、
主教被選者 アシジのフランシス 西原廉太 師の主教按手式および日本聖公会中部教区主教就任式を下記のとおり、日程を再度変更して執行いたします。
主にあるみなさま、ことに日本聖公会に属する信徒・聖職の代祷を求めます。

記

日時 : 2020年10月24日(土) 午前10時00分～
(当初の3月28日より変更した5月2日より再変更)

説教者: 主教 ゼルバベル 広田勝一 師
(北関東教区主教)

場所 : 日本聖公会中部教区 主教座聖堂(名古屋聖マタイ教会)

愛知県名古屋市昭和区明月町 2-53-1

※祭色は赤をういます。

以上

 ≪人事≫
東北

主教 ヨハネ加藤博道(退) 2020年4月1日付 司祭アントニオ影山博美のもとで仙台基督教会及び二伝道所の、また司祭ドミニコ李贊熙のもとで仙台聖フランシス教会及び山形聖ペテロ教会において礼拝協力を委嘱する。(任期1年)

北関東

司祭 フランシス秋葉晴彦 2020年3月31日付 休職を解き、願いにより退職を許可する。
 司祭 ミカエル浅見卓司 2020年3月31日付 休養を解く。
 2020年4月1日付 主教座聖堂付とする。
 主教 ゼルバベル広田勝一 2020年4月1日付 東松山聖ルカ教会及び毛呂山聖霊教会管理牧師を任命する。
 司祭 パウロ鈴木伸明 2020年4月1日付 東松山聖ルカ教会協働司祭を任命する。
 司祭 サムエル輿石 勇(退) 2020年4月1日付 榛名聖公会嘱託勤務(協働司祭)を委嘱する。(任期1年)
 司祭 アンデレ斎藤英樹(退) 2020年4月1日付 毛呂山聖霊教会嘱託勤務(協働司祭)を委嘱する。(任期1年)
 伝道師 アンブローズ久保田 智(退) 2020年4月1日付 日光真光教会嘱託勤務を委嘱する。(任期1年)

東京

司祭 ジェームス須賀義和 2020年3月31日付 社会福祉法人滝乃川学園チャプレンの任を解く。
 2020年3月31日付 学校法人光の子ども学園聖公会八王子幼稚園チャプレンの任を解く。
 司祭 ダビデ倉澤一太郎 2020年4月1日付 社会福祉法人滝乃川学園チャプレンに任命する。
 主教 フランシスコ・ザビエル高橋宏幸 2020年4月1日付 学校法人光の子ども学園聖公会八王子幼稚園チャプレンに任命する。
 司祭 パウロ田光信幸(退) 2020年4月1日付 学校法人光の子ども学園聖公会八王子幼稚園チャプレン代行(嘱託非常勤)を委嘱する。(任期1年)

横浜

執事 ペテロ八城 晃 2020年3月31日付 主教座聖堂付きおよび横浜聖アンデレ教会協働の任を解き、願いによって休職を許可する。

京都

司祭 アントニオ出口 崇 2020年4月1日付 京都聖ヨハネ教会の協働司祭に任命する。
 <信徒奉事者認可> 2020年5月15日付 (任期1年)
 (上野聖ヨハネ教会) ルカ木村直史

神戸

<信徒奉事者認可>

(広島復活教会)

(神戸聖ヨハネ教会)

2020年4月1日付 (任期1年)

ステファニア浜井美喜

ヨシュア埜田直文

特集・神学校から**2020年の聖公会神学院**

神の民の奉仕職のために ―新年度の出発にあたって―

聖公会神学院 校長 司祭 アンデレ 中村 邦介

新型コロナ・ウイルスの感染拡大という異常な事態に、今年度の入学式をはじめ一連の学校行事や教育は、すべて延期を余儀なくされています。未だに先行き不透明な見通しの中で、どのような形で本格的に学期をスタートできるかを繰り返し模索中です。場合によっては、実際の開始を大きく順延とすることも考慮しなければなりません。ともかくも状況に応じて対応したいと思いますが、幸いにして一般の教育機関と違って基本的に全寮制であることが、ある種の「隔離状態」を可能にする利点と言えるかも知れません。

2020年度の展望

今年度の本校の展望について言えば、本科の神学生としては三年次1名、新入生1名の2人となります。以前から神学生の恒常的な減少に悩まされていますが、残念ながらこの懸念を容易には払拭できません。引き続き皆様のご支援と祈りを切にお願いする次第です。ただ本年度は、本科と共に新しく「信徒の奉仕・召命コース」という教育課程(約8ヶ月)を開設し、このコースに3名の方々が学ばれることになりました。

周知のことかも知れませんが、このような信徒の奉仕職(Lay Ministry)は、既に1950年代及び60年代からローマ・カトリックの第二ヴァチカン公会議や聖公会の「ランベス会議」などで教

会の革新にとって最も重要な課題であることが提起されてきました。その後70年代から欧米諸国では様々な試みが為されてきましたが、近年ではチーム・ミニストリーと相俟って、豊かな展開が図られています。教会における洗礼の意義の再認識に基づいて、ますます神の民の奉仕職の多様性はこれから注目されることになるでしょう。信徒はLay Reader, Lay Preacher, Lay Pastorateなど、神の民の共同体(教会)における聖職と信徒との協働関係を保ちながら、礼拝・説教・牧会など各自に与えられている聖霊の賜物によって様々な働きに参加することになります。

新たな試み

さてこのような信徒の奉仕職について、実は本校の70年代の「教育改革」に基づく教育概要には、既に含蓄されていたのです。しかし様々な事情や要因がありますが、実際にはなかなか着手に至らず、今回ようやく具体的に展開することになりました。このような新たな試みの背景には、確かに現在の日本聖公会が直面している教役者の減少あるいは教勢の減退による財政の逼迫などの状況が念頭にあることは否定できません。しかしここで重要なことは、ただこのような現状に対する応急的な対処としてだけ信徒の役割を期待すべきではないということです。むしろ

「危機は好機と隣合わせ」という格言があるように、信徒の位置づけを教会の本質に立ち返って積極的に捉え直すチャンスとすることが求められています。これまでの教会は、どのような側面からもやはり聖職を中心にした営みにならざるを得ませんでした。それは現状の教会のあり方からすれば、ごく自然なことであつたでしょう。教会(建物)には牧師が定住し、信徒が献金と奉仕を通して教会を支え、ケアを受けるというあり方は、長い間歴史的に継承されてきた構造ですから、当然ながらそれ以外のあり方を頭の上では理解できても、現実的には受けとめにくいことは確かです。しかし教会の現況は、はからずも外的要因によって、もはや1教会1牧師体制(教会=建物=牧師)を維持することが難しくなりました。このような局面であればこそ、私たちは従来の教会観から一歩解き放たれて、むしろ内発的に柔軟で機動性に富んだ教会のあり方を追求したいと考えるのです。そのためにはもちろん聖職の意識も働き方も大きく変わらざるを得ませんが、おそらく信徒の働きが触媒的な役割を果たすのではないかと思います。そこでは信徒は決してただ単に聖職の働きの補助者・助力者としてあるのではなく、聖職と信徒との協働関係を新たにつくり直していくという展望です。日本聖公会の現状では1教会1牧師という伝統的に守られてきた基本構造をどこまでも維持しようとする磁場が働いています。しかしそれでは聖職も信徒も、畢竟「内向きの教会形成」にならざるを得ず、やがて教会を維持することさえもままらなくなるでしょう。今回の「信徒の奉仕・召命コース」は、以上述べてきた趣旨に基づいていますが、実際にはしばらく試行錯誤の模索の過程を必要とするでしょう。神学生の養成と共に、信徒の奉仕職の育成は、教会の多様な奉仕職のプラットフォームを推し広げて、神の宣教に仕える働

きのフロンティアに新たな活力を与えることを期待したいと思います。

大きな視野に立って

ここで本校のスタッフ・フォーメーションについて一言申し上げますと、今年度から不肖私が校長職を担うことになり、また新しく新約聖書学を専門とする専任教員が加わりました。事務サイドでも、長い間奉職された職員が辞められ、新たなスタッフに替わりました。

他の教育事業については、一昨年(2018年度)から現役教役者の「研究休暇」のために、本校に一定期間滞在して研究生活に専念する「継続教育コース」を開始しました。実際に昨年度は神戸教区から1人の司祭が来られて、約1年間研究と生活を続けられ、有意義な時間を過ごされました。今年も引き続きこのコースへの参加を呼びかけたいと思います。また神学研究の推進と展開のために「聖公会 神学研究会」を今年度も開催予定です。現場の様々な仕事に専念していると、なかなか立ち止まって自分の働きを省察する機会がありません。しかし私たちの働きはどこまでも「省察的实践」であるとするれば、「神学する」ことは重要な職務の一つです。現前のリアリティに対して忠実なミニストリーを果たすと同時に、更に大きな視野の中で大文字のリアリティに対しても、複眼的な見方のできるミニストリーを目指して、地道な神学の取り組みに尽力したいと思います。多くの識者が指摘しているように、これから十年という将来は人類史的な転換点に差し掛かっており、新型コロナ・ウイルスのように多くの諸問題が劇的にグローバルに噴出するだろうと言われていています。私たちの教会共同体が果たしてノアの方舟として希望のしるしとなり得るか否か、そのためにはノアのようにダブル・ヴィジョンに生きる知恵が求められています。



特集・神学校から**2020年度のウイリアムス神学館**

—「信徒の奉仕職」と今年度の神学館—

ウイリアムス神学館 館長 司祭 ヨハネ 黒田 裕

入学礼拝について

日々刻一刻と変化する新型コロナウイルス（※以下、「コロナ」とのみ表記）による感染症の拡大だが、本紙今号発行の頃にはどうなっているだろうか。予断をゆるさない状況だが、この原稿を執筆中の現在、既に全国に出された「緊急事態宣言」が続いているのは確かである。この間、この感染症で逝去された方々の魂の平安とご遺族への慰め、療養されている方々に主の癒しがあるように、また全力で取り組んでおられる医療従事者をはじめとする現場の方々とそのご家族、そして罹患された方々のご家族に主のみ守りがあるよう心からお祈り申し上げます。

そのようななか新年度の入学礼拝をどうするか随分悩んだが、本館では例年参列者も比較的少数であるため、対策を講じた上で予定通りの日程で行なうこととした。こうして4月2日(木)、2020年度の入学礼拝が執り行なわれ、3名の入学者が与えられた。

私が館長となってから初めての新年度には入学者がなく、翌年度には1名ただだけに感慨もひとしおで、在校生とともに喜びを大いに分かちあった。1年生3名、2年生1名、計4名でのスタートである。

信徒の奉仕職と神学館

まず初めに一昨年度の本欄とも一部重複するが本館の歴史的な成り立ちを簡単に振り返っておきたい。『日本聖公会百年史』によれば、当館の前身は大阪・関口に設立された聖マリヤ女子神学校まで遡ることができるようだ。その後同校は1897年(明治30年)大阪・川口に移り一時大

阪伝道女館と呼ばれ、1908年(明治41年)には京都で京都女子伝道館と改称される。しかし同館は1915年(明治41年)に閉鎖され、学生たちは芦屋聖使女学校と仙台青葉院に託された。その後、1948年(昭和23年)同館はウイリアムス聖書学校として京都教区教務所構内に再開、その4年後にはウイリアムス神学館と改称された。再開当初は婦人伝道師と男子レイリーダー(信徒奉事者)の養成が目的だったが、その後教役者を志願する者の教育と訓練が中心的使命となり今に至っている。その方向性は今も変わらないが、近年は信徒の奉仕職養成にも取り組みはじめ、さらに今年度はとくにその新しい可能性を感じさせる年度となった。

前者については、10年程続いてきた「伝道師養成コース」をより柔軟性のあるものにしつつ、ここに信徒の奉仕職養成を加え、「伝道師および信徒の奉仕職養成課程」としたことが挙げられる(各教会にお届けしている『2020年度 ウイリアムス神学館要覧』11頁をご覧ください)。長く続いた「伝道師養成コース」だが、残念ながら修了者は1名に留まっていた。おそらく伝道師の位置づけ等が確立されていないことや、1年間寮生活をするとなると事実上就いている仕事を辞さなければならないといった理由が挙げられよう。そこで今年度から伝道師および信徒の奉仕職養成については「受講希望者および所属教区の意向を踏まえ、神学館との協議に基づいて柔軟にコースを編成する」(同『要覧』21頁。なお、カリキュラムの一例は11頁に掲載している)とした。これにより、受講者のニードや教区の意向に合わせてカリキュラムを組み、寮への滞在

も、たとえば1週間とか1ヶ月、3ヶ月、1年等々事情に合わせた期間や時期を設定できるようになった。

後者の「新しい可能性」については、この項の冒頭で挙げたように、当初の目的である信徒奉仕者の養成という歴史に再接続するかののような意味あいをもちつつ、さらなる展開を思わせる動きがあったことが挙げられる。それは大津聖マリア教会信徒の前田伸子氏が本館主事に就任されたことである。信徒の主事は開学以来、初めてのことであろう。当初より本館の教育目的のひとつに女性の伝道者養成が入っていたことも併せ考えると新たな可能性を予感せざるを得ない。同氏は、社会人としての豊富なキャリアと日本聖公会婦人会長を務められた経験を活かし、すでに貴重な働きを始めておられる。ウイリアムス神学館の新体制をおぼえご加禱をお願いしたい。

新年度を迎えて

前項の新体制に加え今年度も新たな先生方をお迎えすることができた。「礼拝学I」は越川弘英同志社大教授に、「教理学特講」は津田謙治京都大准教授に、それぞれ担当いただくこととなった。礼拝学Iでは礼拝の歴史や神学について幅広くつまりエキュメニカルに学ぶ機会を提供できることとなった。「教理学特講」では、紀元後5世紀までの教父や公会議の神学を教理学の分野で補強できるようになったといえる。また「今さら聞けない!!キリスト教」の今年度講師には嶺重淑本館教授(関西学院大教授)をお迎えし「新約思想編」をテーマとした。が、4月分はやはりコロナのため休講となった。5月以降についても、どうなるか微妙になってきているところである。なお、過去の講座(2016-2019年度)も随時視聴可能である。詳しくは本館に直接ご連絡いただくか、公式HP「キリスト教講座」のページをご覧ください。

こうして今年度も教育内容の充実や展開がはかられているものの、やはりコロナの影響は大きいと言わざるを得ない。本館の場合、本科生は

全寮制であり休校は却って学生の外出の機会が増えることとなる。むしろリスクが相対的に高いと思われるのは、学外から通ってこられる聴講生、教職員、スタッフである。また、年齢や基礎疾患の有無、交通手段、ご家族にご高齢の方や基礎疾患をお持ちの方がおられるかによってもリスクは異なる。そのため今のところ個別に対応しているが、徐々に遠隔授業に移行しつつあり、対応に追われる日々である。

神学館の課題

紙幅の関係でここでは一点だけ申し上げたい。すでに経常化して久しいのだが、低金利時代が続き基金が果実をほとんど生まなくなっていることから、依然として財政難の状態は変わっていない。後援会への入会の呼びかけと神学館の教育内容のアピールのため昨年5月から大阪教区の諸教会を巡っていたが、これもコロナの影響で現在はストップしている。今後とも神さまのみ旨にかなう神学教育のため皆様のご加禱、ご支援をよろしく願いいたします。



日本聖公会管区事務所ホームページ

<http://www.nskk.org/province/>

☆「管区事務所だより」についての要望・寄稿などをメール、また郵便でお寄せください。

新型コロナウイルス（COVID-19）に関連する 各教区の対応

北海道教区 礼拝の休止なし

- ・無理に主日礼拝への参加をお勧めしない（5月末まで延長）。
- ・教役者はそれぞれの教会で時間通り礼拝を守る（時短可）。

東北教区 礼拝の休止

- ・5/3（日）まで。
- ・教役者はそれぞれの教会で時間通り主日礼拝を守る。
- ・葬儀は十分な感染予防対策の上で実施。

北関東教区 礼拝の一部休止

- ・埼玉伝道区内各教会は、当面の礼拝（公禱）・集会を休止。
- ・茨城、栃木、群馬各伝道区内各教会は、4/5より礼拝を再開 ただし地域社会や教会共同体の状況を考慮・協議し対策。協議の結果、礼拝（公禱）・集会休止と判断した場合は、教区主教に報告。

東京教区 礼拝の休止

- ・4月以降も主日礼拝を全教会休止を継続。
- ・葬儀は十分な感染予防対策の上で実施。
- ・教役者逝去者記念聖餐式は4/15～当面、教区主教と主教座聖堂主任司祭等での非公開の礼拝とする。遺族・関係者へ教区事務所より案内するが、それぞれの場で祈りをともにする。

横浜教区 礼拝の一部休止

- ・緊急事態宣言を受けて、その対象地域となった神奈川県と千葉県全域で、すべての礼拝を非公開とする。
- ・その他の地域（静岡県、山梨県）は4/5（日）から主日礼拝を再開し、平日の礼拝・集会は、ごく小規模のものに限る。ただし、各教会の状況により各教会の判断で礼拝を休止にする場合がある。4月9日現在、伊豆、沼津、静岡、清水も、礼拝は神奈川県・千葉県に準じてすべて非公開。

中部教区 礼拝の休止

- ・5/24までの主日及び週日の礼拝は、教役者・

信徒が一堂に会して行うことを休止。

- ・東京教区のオンラインによる礼拝も推奨。

京都教区 一部礼拝の休止あり

- ・各教会で判断。主日礼拝休止の教会あり。

大阪教区 礼拝の休止

- ・5/30（土）までの主日礼拝をはじめ公の礼拝を中止。
- ・5/20（水）11:00～司祭按手の更新・聖油聖別の祈りを主教座聖堂にて、3密に注意し教役者のみで執行。

神戸教区 公開の礼拝自粛

- ・教区内全教会・伝道所は5/6まで礼拝自粛を教区主教が指示。

九州教区 一部礼拝の休止あり

- ・各教会で判断。
- ・無理に主日礼拝に来ることをお勧めしない（体調の悪い方・公共の交通機関で教会に来られる方など）。

沖縄教区 礼拝の一部休止

- ・諸魂教会は聖週とイースターの主日礼拝を休止。
- ・4/12のイースター礼拝後～4月末まで礼拝を休止。
- ・三原聖ペテロ聖パウロ教会は4/12のイースター礼拝後～5月末まで礼拝を休止。
- ・愛楽園祈りの家教会、石垣キリスト教会、宮古の教会は継続。

全体として

- ・教会が運営する幼稚園・保育園の休園、集会やイベントの中止や延期、関係学校、関係施設では行事の取りやめや規模の縮小などの対応を行なっている。

管区事務所

- ・5/1まで就業時間の短縮（月水金は10:30-16:30 必要に応じて出勤、火木は在宅勤務）。担当者のメールは送受信可能。緊急の場合は管区事務所総主事の司祭 矢萩新一まで。

（2020年4月22日現在）

世界の聖公会の動向

☆聖公会における COVID-19 への対応
☆み国が来ますようにキャンペーン

ほか

管区渉外主事

司祭 ポール・トルハースト

○COVID-19関連：世界の聖公会指導者からのメッセージ

世界中の国々がCOVID-19(新型コロナウイルス)の大流行に対応する中、多くの人々が、かつてないほどの日常生活の制約に直面しています。

私たちの多くは政情の不安定さ、戦争、自然災害などへの対応のため、ここ数年、特定の国または地域で一時的に同様の制約の下で生活してきました。しかし、大多数の人々にとって、そのような制約は新しいものです。いずれにせよ、今回の制約が抱える地球規模の性質は、全く異なるスケールであると言えましょう。

アングリカン・コミュニオン多くの管区は、各国政府・自治体の勧告を受けて、礼拝を見合わせています。これは、人々が直面している他の制約と同様に、気持ちを挫き、混乱させ、動揺させるものかもしれません。

私たちがまず申し上げたいことは、正規の礼拝を停止したからといって、神への信仰をやめるわけではないということです。私たちは神を信じ、私的にも家庭内でも祈り続けることができます。私たちは、聖公会の特定の教区や管区のために世界中で一緒に祈ることができる代祷表(the Anglican Cycle of Prayer)を含む、あなたの祈りに役立つ多くのリソースを持っています。

第二にお伝えしたいことは、私たちが神様への信頼を忘れずにいることです。使徒パウロは「ローマの信徒への手紙」(8:38～39)の中で、「死も、命も、天使も、支配するものも、現在の

ものも、未来のものも、力あるものも、高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです。」と書いています。

またパウロはテモテと共に「フィリピの信徒への手紙」(4:4～7)の中で「主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。あなたがたの広い心がすべての人に知られるようになりなさい。主はすぐ近くにおられます。どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。」と述べました。

私たちは祈りを捧げるときに、病気の人や孤独な人への祈りに加えて、権威ある人たちの知恵のため、そして医療従事者に力を与えるためにも祈るべきです。そして私たちは祈る以上のことをすべきです。また、ウイルスの封じ込めに取り組んでいるそれぞれの国と地域の当局の助言に留意して行動する必要があります。そして、自らのケアが不可能な人たちに気をつけるべきです。

私たちは今、皆さまのために祈りをしています。そしてこれからも神の教会のすべてと世界のために祈り続けます。

カンタベリー大主教 ジャスティン・ウェルビー
香港大主教・全聖公会中央協議会議長

ポール・クオン

アングリカン・コミュニオン総主事

ジョサイア・イドゥーフエアロン



○ランベス会議が2021年に延期される

アングリカン・コミュニオンの主教が10年に一度集うランベス会議が、今年夏に英国のカンタベリーで開催される予定だったが、COVID-19(新型

コロナウイルス)の流行を考慮して2021年に延期されることになった。カンタベリー大主教のジャスティン・ウェルビー師はビデオ・メッセージの中で、以下のように述べた。

「困難の時にあって主教の居場所は、オオカミによって群れが襲われた時の羊飼いの場所です。彼らと共にいることです。彼らの傍らで、彼らを愛し、共に苦しむことです。コロナウイルスのために、世界の往来は深刻に制限されており、しかも私たちがこれらの制限に向き合わなければならぬ期間の長さは不明です。このような理由から、聖公会の主教として良い羊飼いとなり、神の苦しみが訪れた世界の中で個々の教会の存在を力づけるために、私たちは会議を2021年まで延期することを決定しました。

私たちが共に集まる時は、現在起こっていることによって再形成された世界になるでしょう。そして、私たちが集うことは、祈り、聖典を学び、神の言葉を聞き、慰め、神の世界のための神の教会とは何かという新たな展望を得るために、ますます重要になります。」

○世界中で礼拝が休止される

世界中でCOVID-19の感染が広がり続ける中、世界の聖公会管区の多くは他の教派の教会と同様に、一般の礼拝を休止している。カンタベリー大主教のジャスティン・ウェルビー師とヨーク大主教のジョン・センタム師は、イングランドでの一般礼拝の休止を発表し、信徒に対して根本的に異なるタイプの教会になることを求めた。すなわちこれは「停止」ではなく、別の信仰の在り方を身につけるためである。聖職者への文書の中で、彼らは次のように書いている。「私たちの生活は、日曜日の教会への出席によってのみ特徴づけられることは少なくなり、毎日の祈りと礼拝によって特徴づけられるようになります。その時、私たちの奉仕と愛によって、イエス・キリストが知られるようになり、福音の希望、すなわち恐れと孤立に打ち勝つ希望が、私たちの国に広がるのです。」

他の多くの聖公会の管区も、感染症の蔓延を防ぐために社会的交流に制限を課す政府の要

請に応じて、礼拝を休止した。

聖公会の一番新しい首座主教であるウガンダのスティーブン・カジンバ大主教は次のように述べた。「人々は私に、日曜日と週の半ばに教会で礼拝のために会えないのなら、教会はどうなるのでしょうか?と尋ねました。おっしゃるとおり、日曜日にみなで集うことができないことは困難を生みますが、イエス様の言葉を信じなければなりません。『二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである。(マタイ18:20)』とおっしゃっています。」

多くの管区では、ローカルおよび全国規模のメディアで放送される特別礼拝を準備し、オンラインでストリーミング配信をしている。アングリカン・コミュニオン事務局は、ウェブサイト(anglicancommunion.org)でこれらへのリンクを共有している。

○Thy Kingdom Come (み国が来ますように)

2020開始

世界規模のエキュメニカルな祈りの運動である「Thy Kingdom Come (み国が来ますように)」は、カンタベリー大主教とヨーク大主教が英国聖公会の聖職者にシンプルな要請をしたことから始まり、今年の世界の90%以上の国々で行われる予定である。対象となる昇天日から聖霊降臨日までの10日間(2020年5月21日～31日)を前に、ランバス宮殿で今年の国際的イベントが開始された。

ジャスティン・ウェルビー大主教は、次のように述べた。「私が興奮するのは、私たちが共に集まり、人々が聖霊で満たされるように祈る時、彼らがイエス・キリストを知り、愛するようになり、自分たちの罪を悔い改め、間違ったことから離れ、彼らの心を満たすキリストの愛を見つけることです。さらにははっきり言えば、私たちは世界の変化を祈っているのです。」

今年、新しいスマートフォン・アプリが作られ、ゲーム、聖書物語や映像が提供される予定である。

**神学校のために
祈る主日**

2020年5月3日
(復活節第4主日)



あなたがたのうちでいちばん偉い人は、仕える者になりなさい。
誰でも、高ぶる者は低くされ、へりくだる者は高められる。
(マタイによる福音書 23:11-12、聖書協会共同訳)

日本聖公会

日本聖公会
正義と平和委員会 憲法プロジェクト

2020年5月3日
憲法記念日によせて

「主は国々の争いを裁き、多くの民を威められる。
彼らは剣を打ち棄てて鎧とし、
棒を打ち棄てて鎌とする。
誰は国に預かって剣を上げず、
もはや戦うことを學ばない。」
(イザヤ書 2:4)



**まって!の聲が
届くうちに**

今、声をあげよう。
日本国憲法の「愛」を
失う前に。

日本国憲法 第9条
日本国は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

日本聖公会に連なるすべての正義総領の皆さんが、憲法第9条の改定に反対し、「平和を愛する人々の争い」に与る者とされまいように、祈ります。
2020年4月25日 日本聖公会正義と平和委員会 憲法プロジェクト

Thy Kingdom come
「み国が来ますように」キャンペーン

昇天日 5月21日(木) ~ 聖霊降臨日 5月31日(日)

『Thy Kingdom come (み国が来ますように)』の祈りに参加しましょう!

5/21(木)の昇天日から5/31(日)の聖霊降臨日までの11日間、「祈りのしおり」(管区事務所HPにも掲載)を活用してクリスチャンに導きたい5名の家族や友人、知人を覚えて祈りましょう。

イエス・キリストの父なる神よ、『み国が来ますように』の祈りに、わたしたち日本聖公会が参加できますことを感謝します。どうかこの時にあたり、わたしたちが祈ることを通して主イエスとの交わりを深め、主を力強く証しすることができるようにしてください。またわたしたちの覚える5人の友を聖霊によって導き、この人々が主イエス・キリストに出会い、主を信じることができるようにしてください。主は父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられます。アーメン

(主教会作成の祈りです。
5/24(日)の復活節第7主日(昇天後主日)の代換のはじめに、また日々の祈りの時にもおさげください。)

Thy Kingdom come
のウェブページには、
日本語のページも
用意されています。
祈りの登録や各種資料も準備されています。
<https://www.thykingdomcome.global/>

